

# ときめき人

Tokimeki bito



## 子どもと大人の 連結伝道師 「笑顔の二人三脚」 目指し続ける

追町・内町

### 千葉 拓也

ちば・たくや  
1985年生まれ 血液型/O型

#### Profile

2006年、仲間とボランティアサークル「びいす☆かんばにい」を結成。市内の18歳以上のメンバー33人で構成している。活動時のキャンプネーム（あだ名）は「ちび太」。



ボランティアサークルびいす☆かんばにいのメンバーとジュニアリーダー

「生涯この活動を続けますよ」とにっこり。千葉さんは、ジュニアリーダー（以下、JL）を支援するボランティアサークル「びいす☆かんばにい」の代表を務めている。

JLは、地域で自主的な活動をする子どもたちの下支えをする中高生のボランティア。子どもたちの話し合い、遊び活動が円滑に進むよう助言したり、子供会育成者に子どもたちの意向を伝えたり、大人との橋渡しなどをする。

自身も中高とJLとして活動。「当時、自分たちや子どもたちの思い、考えが、育成者にうまく伝わらず、柔軟な発想を生かせないことがありました。同じ目線で考え、大人への橋渡しをしたいと思って」と、サークル結成のきっかけを語る。

サークルでは、ダンスなどの実技指導や活動の助言。JLは、ここで多くの知識や技術など学ぶ。普段から大人ぶらず、同じ目線で話を聴いてくれる千葉さんは「良き兄貴」。親や先生には話せない悩み事を相談されることも少なくない。

「JLが、間違った行動や調子に乗り過ぎたときには叱りますよ」と厳しい一面を見せる。叱るのは成長を願ってのこと。叱られても、JLたちは千葉さんを慕う。自分たちを思ってくれてのことと分かっているからだ。

「子どもたちの成長と笑顔が、自分の笑顔の素。お互いが笑顔でいられるよう、みんなでがんばりますよ」一。千葉さんと子どもたちとの「笑顔の二人三脚」はこれからも続く。

## 編集後記

▼先日、とめ市民活動プラザから講師の依頼が。内容は、会報誌やチラシ編集技術について。常に仕事で携わっているが、人前で話すのはまるで別物。2時間30分は、あっという間に過ぎていた。伝える努力はしたが、はたして「伝わる」内容だったろうか。「伝える」で自己満足せず、「伝わる」にこだわって行こう。（及川）

▼ときめき人で取材した千葉さん。ジュニアリーダー活動を存続させるため、誰かがやらなくちゃいけない。自分のことは後回しで使命感と責任感で活動しています。きっとその思いは、背中を追っている後輩たちが次の世代につないでいくと思います。（千葉）

▼登米市のPR動画「Go! Hatto 登米無双」が観光映像大賞を受賞。はっとは、季節を問わず、いつでも食べなくなる食べ物。私たちのまちはうまい物がたくさんあります。うまし、たくまし、登米市。うまい物を食べて、たくましく生きる活力を。（伊藤）



モバイルとめ  
(携帯電話版ホームページ)  
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス  
(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)  
<https://mail.cous.jp/tomecity/>